

(様式3)

事業所名 グループホーム富塚・のぞみの里

作成日: 平成 26年 3月 26日

目標達成計画

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|--|---|--|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | | ・定期的にご家族がホームに集まる機会を設けてなく。率直な意見を収集できていなかった。 | 年1回「家族会」を開催して、ご家族の意見・要望をお聞きできる機会を設けていく。 | ・2014年4月に「お花見」の行事に合わせて「家族会」を開催し、職員紹介・年間行事予定・ご意見・ご要望をいただけるように計画している。 | 2ヶ月 |
| 2 | | ・ご利用者と職員が個別外出する際の事業所でのルールの取り決めが無い為外出行事をなかなか行えていなかった。 | ご利用者の希望により、職員と一緒に外出できるようなサービスを提供していく。 | ・2月の職員会議で外出時の食事に関する相談をし、外食時の食費負担・車の使用に関して等明確にしていく。 | 1ヶ月 |
| 3 | | ・介護計画に対してご家族からの意向確認の記録が無い方もいた。 | ご家族の面会時・ケアプラン説明時にご家族の意向をお聞きし支援記録に記載していく。 | ・ご家族と連絡を小まめに取り、日々の状況をお話しすると共に、生活に対する意向や要望をお聞きして、サービス担当者会議にてスタッフとの共有を行い、実施できるように計画する。 | 6ヶ月 |
| 4 | | ・ご利用者の生活暦やなじみの暮らし方も記載できるようにフェイスシートの見直しが必要であった。 | フェイスシートをスタッフ全体で共有し、誰でも情報を得たら記載できるような様式にしていく。 | ・ユニット会議でご利用者様の情報を収集し、ケアプランのモニタリングの時にあわせてフェイスシートに記載できることは、計画作成担当者が随時記入していく。 | 1年 |
| 5 | | ・ケース記録と介護計画実施表にズレがある箇所が見受けられた。記載時ミスが無いようにしていくことが課題である。 | 介護実施計画表がその時行ったスタッフが実施できたか、きなかったのは何故か、をケース記録に残せるようにしていく。 | ・施設内でケアプランについて学ぶ研修を行い、介護計画実施表の記入の仕方についても学び実行できるようにしていく。 | 6ヶ月 |

(様式3)

事業所名 グループホーム富塚・のぞみの里

作成日: 平成 26年 3月 26日

目標達成計画

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|--|--|---|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 6 | | ・ホームとしての重度化対応や見取りに関する方針がまとまっていない。 | 最終的には見取りまで行える施設にしたい。現在は行えないが方針については理事会等で検討していただけるように働きかけていく。 | ・ご利用者様の状態にあったケアが行えるような柔軟性を持つ為に、現在の施設の実態・職員のスキルアップの為に研修に必要な事項等を理事会で伝え、さまざまな角度からの意見や指導をいただきながら、進めていく。 | 1年 |
| 7 | | ・救命救急の研修が定期的に行われていなかった。 | ・救命救急の研修を年1回実施していくように計画していく。 | ・外部からの講師を依頼し研修計画に予定し年1回実施できるようにする。 | 6ヶ月 |
| 8 | | ・災害時の対応が行えるように緊急連絡網を使用した訓練を行っていなかった。又災害時の地域との協力体制を確認するために避難訓練の参加を要請していくことが課題である。 | 災害時のあらゆる対応が行えるように様々な災害に対しての訓練を行っていく。 | ・防災訓練のほかに緊急連絡網を実際行ってみて、どのくらいの時間を要するか、内容は伝わっているか等を確認して実際に駆けつけてみる訓練を行う。近隣は商業施設・敬和学園大学等であるので、どのような体制が取れるかを防火管理者と共に検討して緊急時の体制の構築を行っていく。 | 1年 |
| 9 | | ・季節に合わせた外出行事の実施ができていなかった。 | 季節を感じていただけるような行事計画を年間を通して計画し実施できるようにしていく。 | ・年間行事計画の中に、季節に合わせた行事を入れて実施できるようにスタッフ全体で検討していく。 | 2ヶ月 |
| 10 | | | | | ヶ月 |